

# 新たな中部圏広域地方計画 基本的な考え方 概要

## <現状と課題>

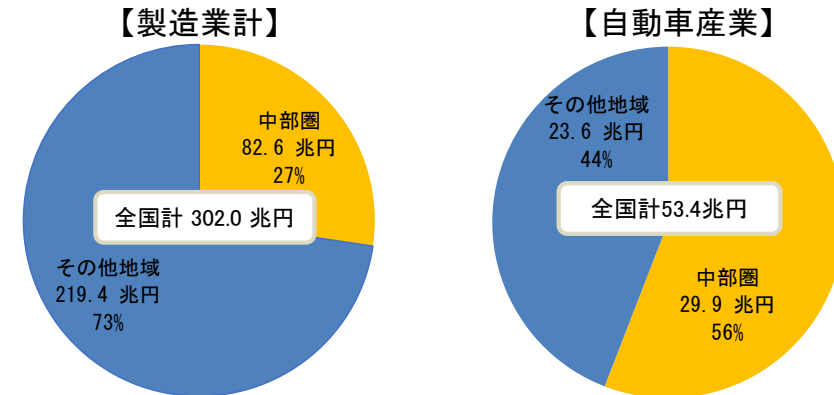
### 【現状・強み】

- ・広い住宅、職住が近接し、地方交付税不交付団体が多く、空間・時間・経済面でゆとりがある圏域
- ・3000m超の山、200km級の大河川、街道筋の宿場町など、豊かな自然環境や固有の歴史・文化を有する圏域
- ・我が国経済を支えるものづくり産業が盛んな圏域

### 【課題】

- ・全国最大のゼロメートル地帯、沿岸部に産業が集積し、切迫する南海トラフ地震により甚大な被害が想定される
- ・若者・女性の圏外転出による活力低下
- ・リニア中央新幹線の開業による日本中央回廊の効果を全国へ波及

製造品出荷額等の全国シェア



※自動車産業：「自動車製造業（二輪自動車を含む）」「自動車車体・附随車製造業」および「自動車部品・附属品製造業」  
 ※岐阜県及び長野県の自動車車体・附随車製造業は秘匿値のため中部圏に含めていない。  
 出典：経済産業省「2021年経済センサス（2020年実績）」より作成

## <将来像>

- ・生活の質が高く持続的に成長する強靱な中部圏

## <目標>

### 目標1：魅力あふれる地域の創出

- 1-1 活力ある地方の創生
- 1-2 暮らしやすい地域生活圏の形成

### 目標2：ものづくりを礎に世界をリードし続ける産業への進化

- 2-1 ものづくりの高付加価値化と新産業の創出による産業の強化
- 2-2 持続可能な産業の構築

### 目標3：日本中央回廊による効果を最大化する圏域づくり

### 目標4：恵みの活用、圏土の強靱化

- 4-1 魅力ある地域資源の保全・活用
- 4-2 地域が直面するリスクへの対応